



Rainbow Net

れいんぼー Topics

障害者週間に当事者団体等ネットワークが 「卓球バレー交流会」を開催!



謹賀新年

会員及び関係機関の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になりました。本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年の12月6日(日)、宮古市総合福祉センター(3階・健やかホール)で「卓球バレー交流会」が開催されました。この事業は、障害者基本法で定められている障害者週間(12月3日～9日)に合わせ、宮古圏域障がい当事者団体等ネットワーク(代表：齋藤玲子氏)が主催し、NPO法人レインボーネットが協力して実施したものです。

交流会とはいえ、試合が始まると参加者の目の色は変わり、時折スマッシュが飛び交う白熱した試合が繰り広げられました。障がいのある人もない人も、誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ「卓球バレー」を通じて、お互いの違いを理解し、共に支え合う楽しさを体験することができたと思います。

最後になりましたが、この事業を実施するにあたり、企画段階からご協力をいただきました卓球バレー指導員の坂田香奈恵様と井土祐樹様、そして参加者にジュースとお茶をご提供いただきました「高知桜ライオンズクラブ」様に心よりお礼を申し上げます。(文責・加藤)

目次 CONTENTS

- | | | | |
|--------------------------|-----|-----------------------------|-----|
| ●れいんぼーTopics | 1 | ●はあとふるズームイン「地活センター」 | 8～9 |
| ●年頭にあって | 2 | ●Essay・虹の架け橋 | 10 |
| ●ザ・自立支援協議会 | 3～5 | ●はあとふるVoice「当事者の声」 | 11 |
| ●宮古圏域・ふくし現場からのレポート | 6～7 | ●なんでもKEIJIBAN
編集後記 | 12 |

明日への願い

特定非営利活動法人
宮古圏域障がい者福祉推進ネット

会長 刈屋 裕之



平成二十八年を迎え、新年が明るく、希望に満ちた未来に向けてのさらなる始まりの年となりますようにお祈りしています。

新年となったことでそれぞれのご家庭では、新しいカレンダーを掲げて表紙を破り、気持ちを新たにしておいでのことと思います。

けれどもお気付き下さい。カレンダーをめくる度に苦しみや悲しみ、寂しさや痛みが白紙に戻るなど無いことを。かえって積み重なってしまふことの方が多い、そんな人たちもいることを。

新年度四月よりいわゆる「障害者差別解消法」が施行されます。

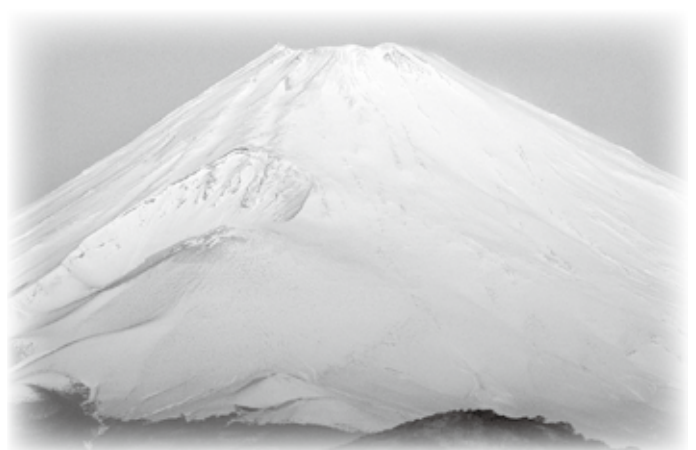
このことが良いことだと単純に捉えることはできません。何故ならば、「法」として国家がわざわざ定めなければならぬほどに、社会には障がい者への差別、区別が存在しているということに他ならない証明だからなのです。

人は皆この世に生まれて来た赤ちゃんのときに、眼が見えませんが、話せませんが、歩くことが出来ません。お母さんもお父さんも当たり前のこととと思っています。けれどもこれは「障がい者」に他なりませんよね。

ですが、この赤ちゃんたちが人として育っていきけるのは、周りの人たちが理解し、愛し、手を差し伸べゆつくりと見守ってくれるからなのです。

私たちレインボーネットの願うことはまさにその事なのです。

地域みなさんが「障がい」ということについて理解を深めていただき、そのことを一



つの個性として捉え、ほんの少し気遣い、手を差し伸べていただけたなら、そのひとりひとりが持つ力を見つけたし、認めていただけたなら、そこには「障がい者」と「健常者」という区別が無くなって、地域の中の、「ひとり」になれるはずです。

叶うならば、なんて素敵な事でしょう。

必ずそんな時が来ますように。



ザ・自立支援協議会

～これまでの活動を振り返って～

本年度の実務担当者会議では、「就労アセスメントの課題について」、「市町村における精神保健福祉活動の現状と課題の報告」、「障がい者自立支援協議会の専門部会における活動報告」等について、前年度に引き続き議題として取り上げて参りました。これらの中で議論の中心となったのが、「就

佐々木 美香氏
(宮古保健福祉環境センター
福祉課・主事)

実務担当者会議

(事務局：宮古圏域障がい者福祉推進ネット／
担当：事務局次長・加藤 伸二)



労アセスメントの課題について」です。

就労アセスメントの課題については、特別支援学校生徒の就労アセスメントの実施方法を中心に、以前より専門部会等において議論を行ってきたところですが、本年度は就労移行支援事業所での就労アセスメントを受けることが困難な方の取扱いを中心に議論を重ね、

その対応策について検討を行いました。現時点において未だ解決法を見出せていない課題も多くあるため、引き続き制度利用者の方へのより良い支援の実施に向けた議論を行っていきたいと思います。

私は本年度から委員として当会議に参加しておりますが、個別では解決困難な課題について行政・事業者が共有し、解決に向けた議論を行なう場としての当会議の重要性を実感しております。今後とも会議への参加等を通じて宮古圏域の市町村や事業者の方々と連携し、障がい者福祉の充実に向けて取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。

権利擁護部会

(事務局：宮古圏域障がい者福祉推進ネット／
担当：相談支援専門員・平野 千代野)



町村と意見交換会を行いました。

今まで、当部会は、部会出席者の活動地域の都合上、宮古市内における権利擁護の実態については比較的把握しておりましたが、宮古圏域の他の町村における権利擁護の実態についてはあまり把握できていたとは言い難い状況でした。

しかし、今年度、宮古市以外の町村の自治体職員等とも意見交換会を実施し、宮古市以外の町村における権利擁護の取組状況、成年後見制度等に対する具体的なニーズの有無、内容及び成年後見制度等を利用する際の障害となっている事情などを

吉水 和也氏
(宮古ひまわり基金法律事務所・弁護士)

今年度の当部会は、昨年に引き続き「事例検討会」を中心とする活動を行いました。事例は、部会員のみならず、医療機関や自治体の関係者等外部の方から持ち込まれることもありましたが、多様な構成員を含む部会員から意見が出されることにより、新たなアクションを起こすきっかけとなった事例もあり、昨年度と同様に地域の権利擁護の質の向上に寄与することができたのではないかと思います。

また、今年度は、宮古圏域の各市

今回の意見交換会で得られた情報は、当部会の今後の取組みを検討する際に大いに活用していきたいと思っています。

また、今後も宮古圏域の各市町村とは、引き続き意見交換の機会を設けていく予定です。その際に出た意見を踏まえて、柔軟に部会の取組み内容を変えていくことが今後の課題になってくるのではないかと考えております。



生活支援部会

(事務局:宮古圏域障がい者福祉推進ネット/
担 当:相談支援専門員・吉田 比呂恵)

相談支援グループ

瀬浪 仁志

(宮古圏域障がい者福祉推進ネット・相談支援専門員)

私が事務局員として所属している「生活支援部会」は自立支援協議会の中に属する4つの専門部会の中のひとつで、更にふたつのグループ(Ⅱ就労支援グループ・相談支援グループ)に分かれ、それぞれ年度毎にテーマを設け活動



しています。

相談支援グループは、毎年各市町村において、行政からの説明と、当事者も交えての意見交換(グループワーク)を行う『地域懇談会』を開催。また、今年度は「生活実態及び生活ニーズ調査」として、重症心身障がい児・者のご家族に対するアンケート調査を実施中です。沿岸地域では職員や社会資源の不足により、サービスを利用しなくても利用できない、という声を良く聞くところですが、中には職員の対応に関する苦言も聞かれ、そのことは真摯に受け止める必要があるかと思います。そういった意味でも、もうひとつの取り組みとして例年開催されている『スキルアップセミナー』も大切な活動のひとつと考えます。今年度は「実例からクレーム(苦情)の間違いと最善の対応について学ぶ」を基本テーマとして、2月に八戸のキャリアカウンセラーの方を講師として迎える開催となります。

新年を迎え、年度内の部会としての定例会も残り少なくなりましたが、アンケート調査や資質向上への取り組みは一度やって終わりというものではありません。家族、当事者

の声やその想いを少しでも受け止め、そして届けられるような継続的な活動が今後大切であると思います。



就労支援グループ

佐々木大輔氏

(宮古市保健福祉部福祉課・主事)

生活支援部会として2年目の今年度は、昨年度までの反省を踏まえて、主に次の3点について取り組んできました。

1点目は、事例検討による情報共有です。各事業所の実例を参考に、状況に応じた適切な支援を行うことができるよう情報を共有しています。

2点目は、地域懇談会の開催です。今年度は、市町村ごとにテーマを設定し、地域で抱える課題について、当事者や民生委員・児童委員、事業所職員等でグループワークを行いました。地域の課題やニーズについて

考えるいい機会となりました。

3点目は、農業と福祉の連携についての取り組みです。担い手不足等の問題を抱える農業と障がい者就労の連携について、先進的な取り組みを行っている県北地域の事業所や農家を視察しました。また、先進地視察研修を踏まえてチャレンジドフォーラムを開催し、『農』の新しいスタイルを求めて』という演題のもと、株式会社えと菜園の小島希世子氏による講演をいただき、「宮古圏域における農業と福祉の連携について考える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。宮古圏域での農業の実態や農業と福祉の連携の可能性について議論することで、今後の宮古圏域での取り組みにおいて、非常に参考になったと思います。

部会としては、地域事情を念頭に、「ともに暮らし、ともに支え合つまちづくり」を目指して、支援の充実を図っていきたいと考えております。



精神保健部会

(事務局：宮古圏域障がい者福祉推進ネット／
担 当：相談支援専門員・澤田 勝)



8月9日には、地域生活支援セミナーとして、宮古山口病院精神科認定看護師の小成祐介氏と東京にある地域活動支援センター長の増川ねてる氏をお招きして講演をいただいた。小成先生には、「心の病について(基礎知識)」という演題で、精神疾患である、統合失調症を始め、うつ病、発達障害、強迫性障害の症状や薬と対処法等わかりやすく解説していただき、正しい知識を再確認することができた。

した。

澤田 勝
(宮古圏域障がい者福祉推進ネット・
相談支援専門員)

今年度の取り組みとして、居住サポート事業を推進していくために、不動産業者を対象にした、障がい者に対する賃貸物件の意識調査を実施する予定です。不動産業者が物件を斡旋するために、どこに不安や困り感を持っているかを調べ、住宅支援における課題を把握し、入居や居住のために必要なことをくみ取ること、地域の居住の場の確保につながることを、また市内の住宅関係団体等とのネットワークづくりにもつながるものと思っています。

増川先生においては、「生きづらさの先にある希望へ向かって」～当事者として伝えたいこと～と題し、生い立ちから現在までそしてこれからを生の声で聴くことができた。切なる思いを知り、誤解や偏見から安心して生活を送ることを学ぶことができ貴重なセミナーでした。

最後に、医療機関と福祉事業者として地域が一体となって、障がいを持つている方たちへの生活環境を整えていける仕組みを作り、安心・安全な地域づくりを進めていきたいと思っています。

発達支援部会

(事務局：宮古圏域障がい者福祉推進ネット／
担 当：支援員・阿部 一徳)



岡崎 薫氏

(宮古市教育委員会学校教育課こども発達支援センター)

発達支援部会では、2カ月に1度の定例会のほか、今年度は恒例となっている3つの事業を行いました。

①発達障がい学習会

「発達障がい」が注目され始めてから月日が経ちましたが、未だに新しい考え方や診断基準(DSM5等)が示され続けています。大切なことは、基準ではなく「その子(人)がどのような状態なのか?」を理解しようとすることであり、支援の視点に立った勉強会をしています。

5/16「発達障がいのある方々を応援するため」に参加者55名

講師：発達障がい者支援センターウイズ 長霞 康紀氏
相談支援事業所サポートにじ 小川博敬氏

7/18「学校におけるソーシャルワークの視点」参加者23名

講師：坂口社会福祉士事務所 坂口繁治氏

②子育て講話とそだちの相談会

発達支援とは、本人への支援はもちろん、子どもを取りまく環境も視野に入れた「子育て支援」そのものです。小児科医として多くの子どもとその家庭を診てきた川村先生に子育て支援の観点からお話しいただくとともに、個別の相談にも応じています。

講師：みちのく療育園副院長 川村みや子氏

6/27「こどもの発達と成長」参加者52名

8/1「発達障がい外来から見えること」参加者50名

10/3「臨床現場から見た現在のこどもと大人」参加者30名

③発達支援セミナー

著名な先生のお話しをぜひ地元で！を合言葉に続けている発達支援セミナーも、8回目を迎えました。今回は、震災直後に日本発達障害ネットワークの被災地派遣専門家チームとして岩手、宮城の沿岸を巡られて以来、幾度となく沿岸被災地に足を運んでくださっている安達先生と前川先生にご講演いただきました。午後には、地域の現場で活躍している方々から実践報告をしていただき、奮闘ぶりを共有しました。

9/12「発達に障がいのある方々を地域で支える」参加者92名

講師：北海道大学大学院教授 安達潤氏
東京女子大学教授 前川あさ美氏
年代別実践報告

さらに、支援に必要な児童生徒の放課後活動の場としてのニーズが高まっている放課後等デイサービスについて、対象家庭からのニーズ調査を行い、今後のサービスの充実に役立てたいと考えています。

これからも地道に、かつ確実に支援者と保護者(当事者)のための事業を行っていききたいと思っています。今後とも、御協力をお願いいたします。

現場からのレポート

Report 1

育ち相談の中で感じたこと

支援員 緑川 貞子



昨年度、今年度と二年にわたり、宮古圏域障がい者自立支援協議会（発達支援部会）では、そだち相談として、みちのく療育園の川村みや子小児科医への個別相談会を実施しました。今年度は当初3回の開催予定でしたが、相談希望者が多く、11月にも追加で行っています。

相談者は、ご家族はもちろん、施設、保育所・幼稚園、学校、関係機関などで、当事者は発達障がいの診断を受けている子供さんや診断が疑われる子供さん、知的障がいの子供さんなど、年齢で見ると10代前半までの幼児期、学齢期

の相談が多く見られました。中でも親御さんは、「団体行動が苦手です。うまく皆の中に入っていない方法はないでしょうか?」「朝起きられる様にしたいです。学校になかなか行けてなくて...」「家族が障がいを理解してくれませんか。どうしたら...」「卒業後の進路や将来のことが心配です。」など等、悩みや不安を抱え、もしかしたら何か良い手立てがあるので...との期待も含め、様々な想いで相談に来られたことと思います。

川村先生は、暖かく、優しい雰囲気、相談者の方の話をじっくり聴いてくれます。そして、これまで頑張ってきたことを労い、色々な想いを受け止めてくれます。それから、医学的な観点や、母としての立場から、これまでの経験を交えて薬のことや関わり方、配慮事項など、本人が少しで

も楽に生活できることを一番に、そして家族も安心できる様、分かりやすく具体的にアドバイスしてくれます。相談したい時、話を聴いて欲しい時、川村先生のような方が側に居てくれたら、親御さんはどんなに心強いことでしょう。

しかし、専門機関の受診も数ヶ月待ちで、社会資源も少ない現状においては、周りの方達の理解や協力が必要であり、地域全体で子育てしていくことが求められている様な気がします。何ができるか分かりませんが、私もまた、その中の一人として、できることから少しずつ子育てに参加していきたいと思っています。その子がその子らしく居られるように。





宮古圏域・ふくし

Report2

社会福祉の仕事を通じて感じていること



私が社会福祉の仕事に就いたのは平成12年、介護保険制度が始まった年でした。福祉の仕事に関心はありましたが、そこまで意識していなかったせいか、病気や高齢の方がとても多いということを実感しました。その後復興関連の仕事をして1年ほど経て、昨年から

当相談支援事業所で働いています。今度は色々な障がいにより生きづらさを抱えている人が、想像以上に多いことに驚きました。どちらも、仕事として関わらなければ意識できなかったことだと思います。

また、ふたつの「社会福祉」の

仕事に関わり、法律上の違いは当然あるものの、お互いの制度について知る機会があまりないのではないか、ということを感じています。勿論、お互い日常の対応で忙しく動かざるを得ない現実もあり、なかなか他の制度を学ぶ機会や余裕がないこともあるかとは思いますが、様々な悩みや葛藤を抱えた方は、誰に何を相談して良いのか分からないこともあるでしょうし、世帯や加齢としての視点も考えると、幅広い知識が必要になってくることも考えられます。

震災を経験し、私はこれからの地域づくりにおいて新しいサービスが求められるのではないかと感じたのですが、振り返ると、それは制度の別に縛られないような地域の居場所であり、気軽に相談のできる場所のことだったように思えます。他の地域で既に取り組ま

れているような仕組みの事かもしれません。支援が必要な本人・家族にとって地域で生きる(逝きる)上での資源として、そんな場所が少しでも増えていくことを意識しながら、今後も仕事に向かっていきたいと思っています。



相談支援専門員 瀬浪 仁志

ち かつ 「地活センター」



に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)・との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。

今 年度も10月11日・12日の2日間にあたり、はあとふるフェスタ2015を開催しました。

～えがこう…それぞれの想いをテーマに、フラッグ(旗)制作にチャレンジ! 7月以降「多機能事業所すきっぷ」、「障害福祉センターゆにぞん」、「若手県立宮古恵風支援学校」、「わかたけ学園」、「地域活動支援センターみやこ」で取り組んだ作品と、当日お祭りに足を運んでくださった方々の作品を会場いっぱい飾り、賑やかな街並みとなりました。

恒例のお祭り広場ではヨーヨー釣り、かえっこバザール、千本釣り等で盛り上がりを見せたほか、メイン会場ではワークショップ「木の実で遊ぼう」を開催し、小さな置物やコースターを作り夢中になる姿も見られました。

また、路上イベントでは、障がい当事者のフラ(ダンス)を披露することができました。本番に向けた猛特訓では笑顔で踊れるように何度も何度も練習を繰り返し、本番の2曲をマスター! 生憎の天候でしたが、バッチリメイクに衣装を身につけ笑顔で踊ることができ、4人のメンバーも大喜びでした。

はあとふるフェスタにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



かえっこバザール



街中を彩ったフラッグ!



フラッグに想いをえがいて

はあとふるフェスタ2015

アンケート結果(一部)

- ◆当事者の方も一緒に楽しんでいる様子が良かったです。
- ◆作るイベントもあり、100円で子供たちが遊べて楽しかったです。
- ◆ワークショップでコースターを作りました。とても素敵な作品が出来てうれしいです。
- ◆いつも楽しみにしています。これからも続けて下さい。



笑顔で踊ったフラ!



木の实で作った作品

フラに挑戦した方の感想

- ◆初めて化粧もし、とてもたのしかったです。また、機会があればやりたいです。(R・O)

はあとふるフェスタ2015

はあとふるズームイン!!

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等)を対象
ピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

活動紹介

「地域活動支援センターみやこ」

こころの元気サロン

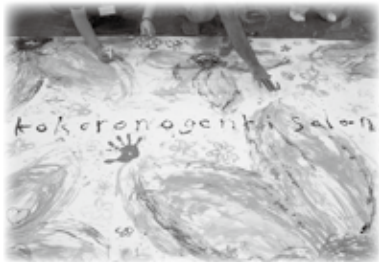
震

災後被災地支援として始まった「こころの元気サロン」も今年で5年目となり、WRAP研究会いわてのメンバーを盛岡からお迎えし、毎月1回開催しています。

毎回テーマを変え、今年度もいろいろな活動をしてきました。「こころが元気になるために必要なものは?」「寝てみる」「葉を飲む」「音楽を聴く」など、自分へのビタミンを探したり、「空想旅行」と題し、自分の行ってみた場所や時代へ旅行する際の持ち物を、画用紙に描いたバッグに書き込んだり、時には「アロマの香りに癒されたり」と、参加者のこころがほっこり明るくなる、そんな活動をしています。

こころの元気サロンは宮古のほか、釜石、大船渡にもあり、昨年6月には合同サロンを開催し、楽しく交流することもできました。合同サロンではゲストに作家の池谷剛一氏をお迎えし、自分の絵本製作と5・5メートルの紙へ描く共同制作の「花」に取り組みました。

いつも心地よい空気の流れるこころの元気サロン、今後も続けていきたい活動の一つです。



合同サロンで描いた「花」



空想旅行で描いたバッグ



アロママッサージに癒されて!

表現活動

トイレットペーパーアート

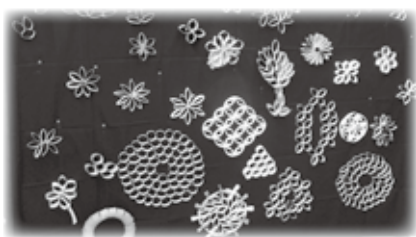
月

に1度表現活動を行い、マンダラ塗り絵や俳句、コラーージュに取り組んでいます。その合間に物づくりへの取り組みも行っています。昨年はトイレットペーパーの芯を使った作品に取り組みました。

横にしてつづし、好きな幅にカットした芯を、好きな形に組み合わせていく。そのカットした芯を好きな形に付けていく。芯の太さ、カットした幅、つけ方でたくさんの表情豊かな作品ができました。参加者も徐々に熱中し、自分の頭の中で構成することが楽しそうでした。完成した作品を並べ觀賞し、自宅に飾りたいとの声もありました。



完成した作品



飾ってみました

エッセイ
Essay

虹の架け橋

「障害者差別解消法」の施行に向けて

宮古圏域障がい者福祉推進ネット 事務局長 盛合 一男



障がい当事者やご家族の念願であった「障害者差別解消法」が制定され、いよいよ本年4月に施行されます。

この法律は、障がいがあってもなくても分け隔てられることなく、すべての人がお互いに人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会の実現につながることを目的としております。

差別を解消するための措置として、行政機関及び事業者に対して、「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が定められており、行政機関については、いずれも法的義務を負うとされるとともに、事業者については、合理的配慮の提供が努力義務となっております。

多様な価値観を認め合い、お互いに尊重し合える社会になりつつあるにもかかわらず、障がいがあるという理由で様々な場所などで、いろいろな差別や偏見を受け、嫌な思いをしたり悔しい思いをされた方がまだまだ多くあります。

法律が施行されれば自動的に差別がなくなるわけではないことから、この法律を有効に機能させ差別解消を図っていくため、全国の市町村等においても住民の方々への理解、啓発を含めた様々な取り組みが始まっております。しかしながら、この法律の存在について社会的認識が高まっているとは必ずしも言えない状況にあります。

障がい者差別は、障がいや障がい者に対する知識や理解不足等に起因することが大きいと考えられることから、どのようなことが差別にあたるのか、どうすればお互いに尊重し合いながら安心して暮らしていくことができるのか、住民一人一人の意識を変えるための地道な取り組みが

ますます重要となって参ります。このことから、レインボーネットにおいても、障がい者理解のための取り組みをこれまで以上に推進するとともに、職員にも法の趣旨を周知徹底し、率先して差別解消を図っていくよう取り組んで参りたいと考えております。

今後、法律施行に伴ういろいろな取り組みが行われることにより、宮古圏域においても、障がいのある人もない人も共に住みやすい地域となっていくことを大いに期待するものです。



はあとある Voice

(当事者の声)

助け合いながら暮らしていく

佐々木 るみ子さん

今年は私にとって初めてづきの年であり、10月には空の旅を経験しました。普段お世話になっているNPO法人結人(ゆいっと)の菊池さんと一緒に、兵庫県の木口福祉財団から援助を受けるため芦屋市へと出向いて、集会に出席してきました。

そして私が最も嬉しかった出来事は、新築になった三王住宅に入居できた事です。エアコンを入れて、ベッドを置き、ソファを備えて、こたつを据えてと、家具を一つ一つ揃えていく度に私と弟は喜びました。生活はまだ始まったばかりですが、心から「ここにきてよかったね!」と思える様にこれからも住みよい部屋づくりに努力したいと思っています。そして誰に對しても、「ここが私の家です」と自信を持って紹介できるような素敵な住まいにしていきたいです。私は今、ウィリーの短期入所を利用してながら生活しています。新しい住居に引越したこれからは、自宅での自

立した生活を心がけて充実した毎日を送っていききたいと思っています。来春からはこれまでよりも弟と二人で生活する時間を増やし、料理や洗濯、掃除などの家事に力を入れていきたいです。特に、これまでウィリーで頂いてきたおいしい食事を再現できるようにになりたいと思っています。そうやって、弟と助け合いながら暮らしていく事が、私の一番の目標です。

また、私はライフワークとして川柳づくりに取り組んでいます。これからもより一層力を注ぎ、記憶に残る作品を生み出していきたいです。『生活+趣味』幸運だと私は感じています。その気持ちから、最後に一句詠みたいと思います。

暮らしから

生み出す趣味が

しあわせを



インタビューコーナー

多出村 幸司 さん

○今はどのような仕事をしていますか？

・就労移行支援事業所「すきっぷ」に1年半くらい通って、すきっぷ外での作業を繰り返していましたが、お寿司屋さんで職場実習をした時、ここで働きたいと思いました。今は朝からお昼までの時間帯ですが、これから夕方や夜のシフトも入ってくる予定です。土日や祝日は特に、すきっぷにいた頃よりも忙しいと感じますが、やりがいがあります。仕事内容は、トイレやホールの掃除、片づけを中心に行っています。お店の皆さんが優しくしてくれるので、ありがたいです。

○休みの日は何をして過ごしていますか？

・自宅でテレビゲームをしている時間が多いです。たまに、市内にいる友人と駅前で待ち合わせをして、一緒にご飯を食べに行ったり話をして過ごしてきます。姉と一緒に出掛けてカラオケをする事もあります。

○最近で一番うれしかった事は何ですか？

・一番はやっぱ、就労が決まった事です。これから時間が増

えてくるので、今よりもっと頑張りたいです。それと、すきっぷに通い始めてから今までで体重が落ちた事も嬉しかった事の一つです。すきっぷに通い始めた頃から比べて、35kg減量する事ができました。今でも食べる量には気を付けて、家でのご飯は自分で量を決めながら食べすぎないようにしています。

○今、欲しいものは何ですか？

・今は来年の春に発売予定の野球ゲームが欲しいです。携帯ゲーム機でしかもっていなかったの、テレビゲームでやれるものが欲しいなと思いました。

○これからの目標、将来の夢を教えてください。

・お寿司屋さんでの仕事を続けてお金を貯めていき、自動車の運転免許を取りたいです。それからもっと先の事になりますが、将来は野球の審判ができるようになりたいです。そのために、地活のカブトの会に参加した時も試合を見ながらイメージをしたり、自宅でルールブックを読んで審判になるための勉強をしています。

※多出村さん、就職おめでとうございます！

これからも夢に向かって進んでいってください。インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

なんでも KEIJIBAN

宮古圏域障がい者相談支援

スキルアップセミナー

●主催

宮古圏域障がい者自立支援協議会

(生活支援部会・相談支援グループ)

●日時 2月2日(火) 午後1時30分～4時

●会場 宮古地区合同庁舎 3階大会議室

●定員 60名(参加費無料)

●対象者

保健・医療・障がい福祉関係者・関連する団体など、社会福祉サービスに携わる方、関心のある方

●テーマ

「苦情(クレーム)はなぜ起こるのか?そこにある想いを知り、より良い対応方法について一緒に考えよう」

●講師 オフィス円香 代表 大坂彰子氏

権利擁護セミナー

●主催 宮古圏域障がい者自立支援協議会

(権利擁護部会)

●日時 2月9日(火) 午後4時～6時30分

●会場 宮古市山口公民館

●定員 50名(参加費無料)

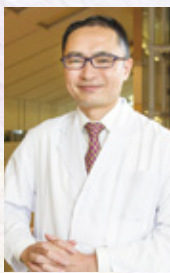
●対象者

障がい・介護保険関係事業所、行政機関、障がい者・高齢者の支援者、支援団体など、医療機関、民生委員・児童委員、関心のある方

●内容

事例に基づくグループワークと専門職による解説

高次脳機能障がい支援者研修会



講師

はしもとクリニック経営
院長 橋本圭司 氏

●主催 NPO法人レインボーネット

●日時 2月19日(金) 午後1時～4時30分

●会場 宮古ホテル沢田屋(2階・ホール)

●内容

第一部・講演会

テーマ「高次脳機能障がいにどのような対応するか」子どもから高齢者まで」

第二部・映画上映

上映映画「博士の愛した数式」(17分)

高次脳機能障がい・家族教室

病気や事故で脳に損傷を受け、脳の機能が上手く働かなくなることや「高次脳機能障がい」といいます。

この度、NPO法人レインボーネットでは、「高次脳機能障がい」のある当事者やその家族が、それぞれ抱えている様々な不安や悩みを語り合ったり、症状について学ぶ「家族教室」を次の日程で開催します。

●2月の家族教室

・日時 2月16日(火)

・午前10時～午後12時

・会場 宮古地区合同庁舎

・内容

交流会「ハープでリラクゼーション」
学習会「高次脳機能障がいの理解と接し方」

●3月の家族教室

・日時 3月8日(火)

・午前10時～午後12時

・会場 宮古地区合同庁舎

・内容

交流会「アロマでリラクゼーション」
学習会「高次脳機能障がいの理解と接し方」

※参加費は2月、3月とも無料です。

寄附金を頂きました!

昨年に引き続き、今年も秋田県大仙市の「フラ・ヴェリナ」様より寄附金を頂きました。

代表の小山様をはじめとする「フラ・ヴェリナ」とする「フラ・ヴェリナ」



の皆様は、被災地のために活動をしてください、今回も利用者の皆さんにと届けてくださいました。あたたかいご寄附、ありがとうございました。

お菓子の寄贈がありました!



明治ホールディングス株式会社の株主様より、明治製品のお菓子が寄贈されました。被災地のみなさんが元気になりますようにと、あたたかい気持ちで込められたお菓子は、地域活動支援センターのクリスマス会で皆さんにプレゼントし、大変喜ばれました。

震災から5年近くなった今でも、全国のみなさんから応援していただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

●問い合わせ先 レインボーネット事務局

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

かい いん ぼ しゅう 会員募集

かいいん しゅうい ねんかいひ
会員の種類と年会費
について

個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円



NPO法人
レインボーネットの活動を
応援してください
募集しています

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆さんにとってどんな一年でしたか?レインボーネットでは、昨年色々なイベントや研修会、セミナー等を企画、実施しました。沢山の方々に参加して頂き、とても感謝しています。有難うございました。

今年は、「申年」ですね。申年生まれの性格を調べてみました。仕事でも人付き合いでも、一箇所にとどまるというより、あちこちと飛び回り、常に新しいものを求めるといえる。申年生まれの代表格とも言える豊吉の様に、口が立ち、頭の回転も良く、周りの人からは楽しいと言われる一方、敵に回すと厄介な存在だと思われることもあるとのこと。どうでしょう、皆さんの周りで思い当たる人はいますか?

今年は東日本大震災から5年、節目に当たる年です。まだまだ復興半ばですが、皆さんにとって笑顔溢れる一年になることを願っています。今年もよろしくお願いします。(緑川)

◆発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)

岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号

はあとびるセンターみやこエ

TEL 0193-64-7878

FAX 0193-77-3921

E-mail info@myako-rainbow.com

URL http://www.myako-rainbow.com/

◆発行責任者 会長 刈屋裕之

◆企画・編集 レインボーネット事務局